

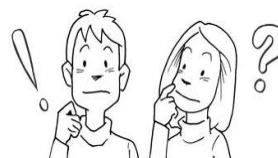
「こんな福祉用具あったら…」 を募集します！

作業療法現場のニーズを発掘



発掘・提案者には、以下のメリットを享受できます。

- **特許出願** ☞ 提案者とマッチング企業とが共同で製品化された場合、提案者に実施料が還元
- **研究開発** ☞ 提案者とマッチング企業とが共同研究開発に参加し、学会などの成果発表(特許出願後)
- **試作品の評価・活用** ☞ 自分のアイデアが形になり、製品として患者さんに利用できるかも!?



手順は以下の①～③を行います。

① こんな福祉用具や機器があればいいのに！

もう少しこうだったら、もっと利用しやすくなるのに！！ をかたちにしましょう。

OT会員の皆さんへ；ニーズ調査として、アンケートを実施します。

福祉用具などの現場からの問題や改善点の提案を広く募集します。

② 多くの現場でニーズがある？本当に実用化できる？を

ひろしま医工連携推進委員会と広島県作業療法士会(福祉機器対策委員)において、応募のあった提案を「汎用性・重要性・市場性」など多角的に精査し、採用提案からニーズ集を作成します。

* 委託元である広島県のみに提示し、広島県によって公益財団法人ひろしま産業振興機構で運営を行っている「ひろしま医療関連産業研究会(企業会員163社)」の会員企業等に提案します。

③ 自分のアイデアが製品になるかも!?

ニーズ集に基づいて、提案者には企業担当者を前に、詳細内容のプレゼンをします。

提案されたニーズのうち、必要性が高く、商品化・製品化が望まれるものについては、ひろしま産業振興機構や広島県の有するネットワークを活用して、早期の実現化を目指します。



広島県作業療法士会の皆様と一緒に『こんな福祉用具があればいいなあ』を作っていきます。

現場での素晴らしいアイデアをお待ちしています。

どうぞ、よろしくお願ひします。